

「どだなだ」… お互いの仕事の様子や子どもたちの状況を気軽に聞き合い
業務の分担や平準化、支え合える職場環境にしましょう。

～『学校における働き方改革の取組手引き【二訂版】』より～

『学校における働き方改革の取組手引【二訂版】』では、「特集」ページを設け、
ご報告いただいた事例の中から、報告数が多かった「地域人材の活用」、「Win-Win な
業務精選」、「タイムマネジメント」の 3 項目を取り上げています。

本号では、各校の次年度の年間行事予定や方針の作成等の参考として、「地域人材の
活用」及び「Win-Win な業務精選」を紹介します。

特集 ～ 地域人材の活用 ～

《長井市の小学校の事例》

【コーディネーター】

- ◇ 元小学校／中学校教員
- ※ 学校の実情をよく理解されているため、安心してお願いできる。

【コーディネート業務】

- ◇ 講師とのやり取り全般
 - ・地域人材への協力依頼
 - ・日程調整
 - ・依頼状の作成や送付
 - ・地域からの依頼への対応
 - ・お礼状のとりまとめ

《各地区の地域学校協働本部※における活動》

- ・登下校の安全確保
- ・環境整備（樹木剪定、花壇づくり）
- ・読書活動支援（貸出補助、読み聞かせ）
- ・学習支援（体験学習、校外学習、調理実習ほか）
- ・部活動支援

《「朝日てづねーたークラブ」だより(抜粋)》

- ◇ 広報無線を活用して、草むしり等を協力依頼（通常は老人クラブを介しての案内や参加取りまとめ）
- ☞ 「放送聞いてきた～」と 10 人の「てづねーたー（ボランティア）」が参加してくださった。

「こんな人に来てほしいんだけど…」
(要望例)

- ・給食の配膳指導の補助
- ・休み時間の児童の見守り
- ・清掃活動の見回り
- ・学校行事での企画補助や警備



「当日はこの方たちが伺います」

※ 地域学校協働活動とは、地域コーディネーター等を
中心に、地域住民や団体が組織された緩やかなネット
ワークです。

「わかりました。ご要望にマッチする
ボランティアさんに聞いてみますね。」



コーディネーター
地域学校協働活動推進員

特集 ～ Win—Winな業務精選 ～

“日常の業務の見直しや削減”は、学校における働き方改革を進めるにあたって必要なことですが、各校の歴史と伝統の中で受け継がれ、育まれてきた大切な行事や業務を削減していくことは容易ではありません。また、一方の業務を削減したものの、他方の業務負担が過剰となるような見直しでは、働き方改革の本来の意義に反してしまいます。

ここでは、ちょっとした見直しによって比較的大きな負担軽減がみられた取組み事例を紹介します。

【 水泳の記録会の開催時期の変更 】

取組み概要

2学期に実施していた水泳の記録会を1学期末に移した。

取組みによる効果

- ・夏休み期間中のプール開放の日数を削減（又は中止）することができた。
- ・夏休み明けの体育の授業を落ち着いた環境で行うことができた。
- ・夏休み期間から2学期前半にかけての行事の重複を解消することができた。

【 クラス通信の統合 】

取組み概要

各クラスで独自に作成していたクラス通信を学年で統一した。

取組みによる効果

- ・クラス担任の負担が軽減された。
- ・通信の内容を確認し、決裁する管理職の負担が軽減された。

※ 紙面上段を学年で統一し、下段をクラス独自の内容で作成することもできますね！

【 会議のペーパーレス化 】

取組み概要

職員会議をペーパーレス化し、PC上のファイルを開覧しながら会議を実施した。

取組みによる効果

- ・資料の印刷時間を削減できた。
- ・資料配布や受取り時間を削減できた。
- ・校内 LAN 上に資料保存用のフォルダを作成することにより、資料を探す手間が省けた。

【 業務の分担 】

取組み概要

担任や主任等の業務が過重となる時は、印刷など分担可能な業務を職員どうして負担し合った。

取組みによる効果

- ・特定の職員の負担感が軽減された。
- ・お互いの仕事状況や児童生徒のことについて話す機会が増えた。
- ・同僚性が高まり、職場の雰囲気が良くなった。

📖 『学校における働き方改革の取組み手引【二訂版】』は県のホームページ（下記のURL）で閲覧、ダウンロード（PDFファイル）が可能です。

<https://www.pref.yamagata.jp/ou/kyoiku/700026/hatarakikata/>